新・未来社会構想

AIとの共創で切り拓く未来社会　｜　概要版

MRI 三菱総合研究所

政策・経済センター

目次(キーワード)

1. 世界の潮流

   3つの潮流:国際情勢、脱炭素・循環型社会、AI浸透

2. 日本の課題

   経済安全保障、人口減少、ヒトとモノの高齢化、財政の持続性低下

   →ピンチをチャンスに変える視点を

3. 豊かで持続可能な未来に向けて

   デジタルを活用した3つの処方箋

   次世代につなぐ社会システムの改革

Copyright © Mitsubishi Research Institute

「未来社会構想2050」を発表（2019年）

- デジタル経済圏の台頭をベースに6つの潮流を予測



三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

新・未来社会構想（2025年）

- **3つの潮流が加速　→不確実性高まる**
  - **国際情勢**（ロシアのウクライナ侵攻、イラン・イスラエル対立、自国第一主義の進展）
  - **脱炭素・資源循環**（気候変動リスク顕在化、資源供給不安定化、再エネ投資拡大）
  - **AI技術の進歩**（大規模投資、アルゴリズム・ハードウェア進化、大規模データ学習）

デジタル技術を梃子にした2040年に向けた指針を提示

（新・未来社会構想）

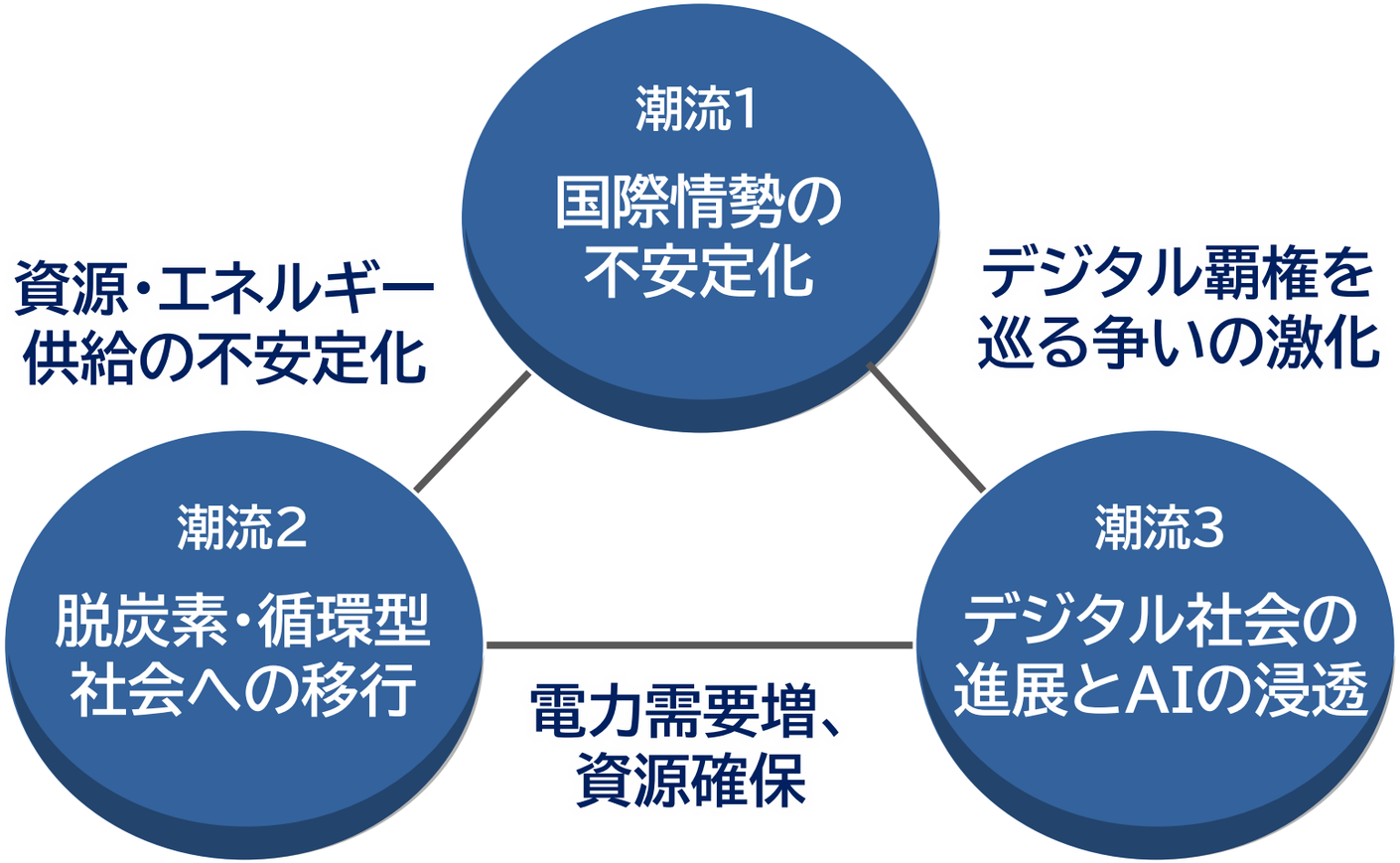
Copyright © Mitsubishi Research Institute

1.　世界の潮流

Copyright © Mitsubishi Research Institute

注目すべき3つの世界潮流

- 国際社会は急速かつ構造的に変化し、大きな転換点を迎えている

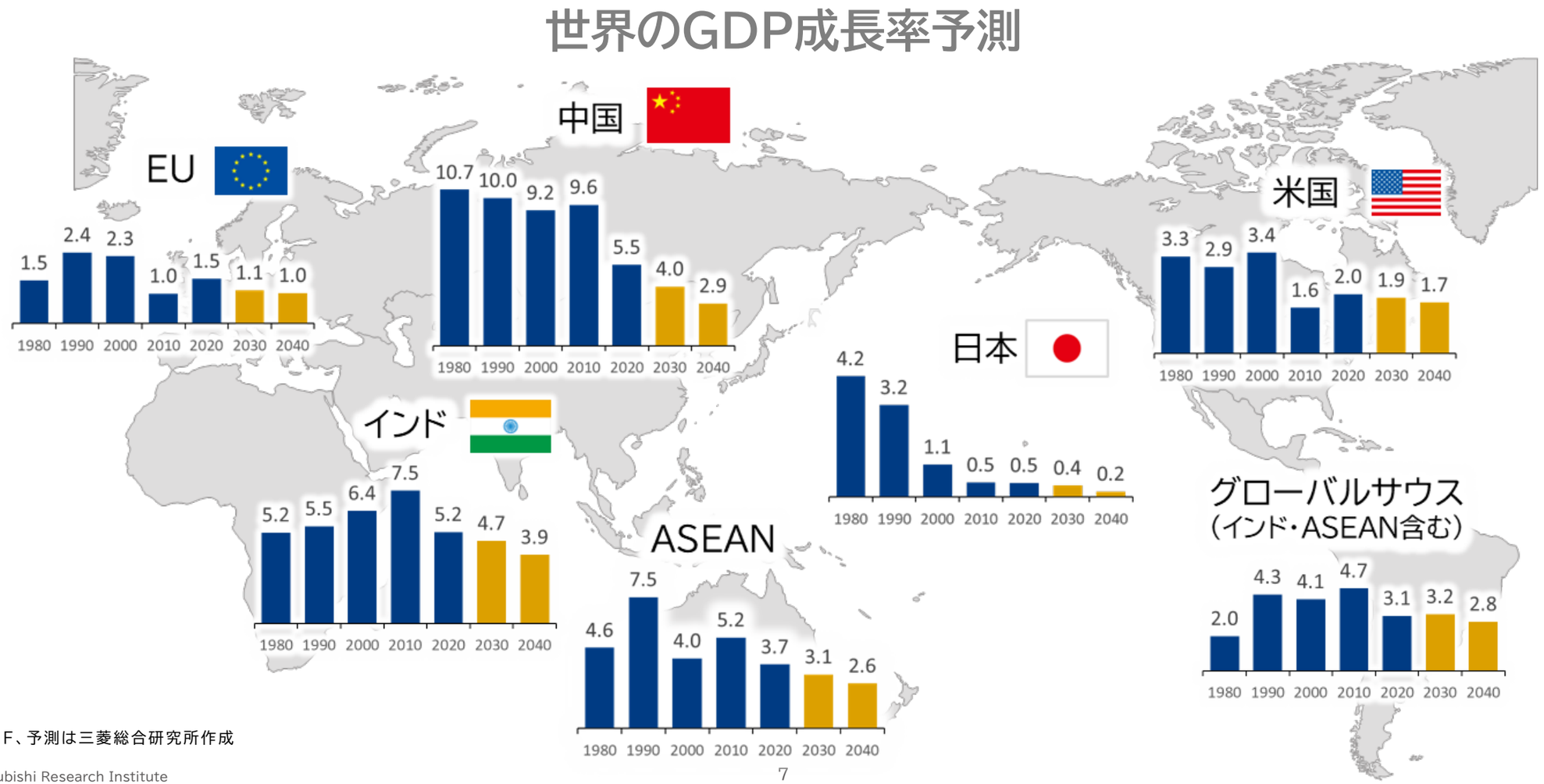


三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

潮流1｜特定の覇権国なき多極の世界へ

- 世界の実質GDP成長率は2040年にかけて年率2%程度まで鈍化

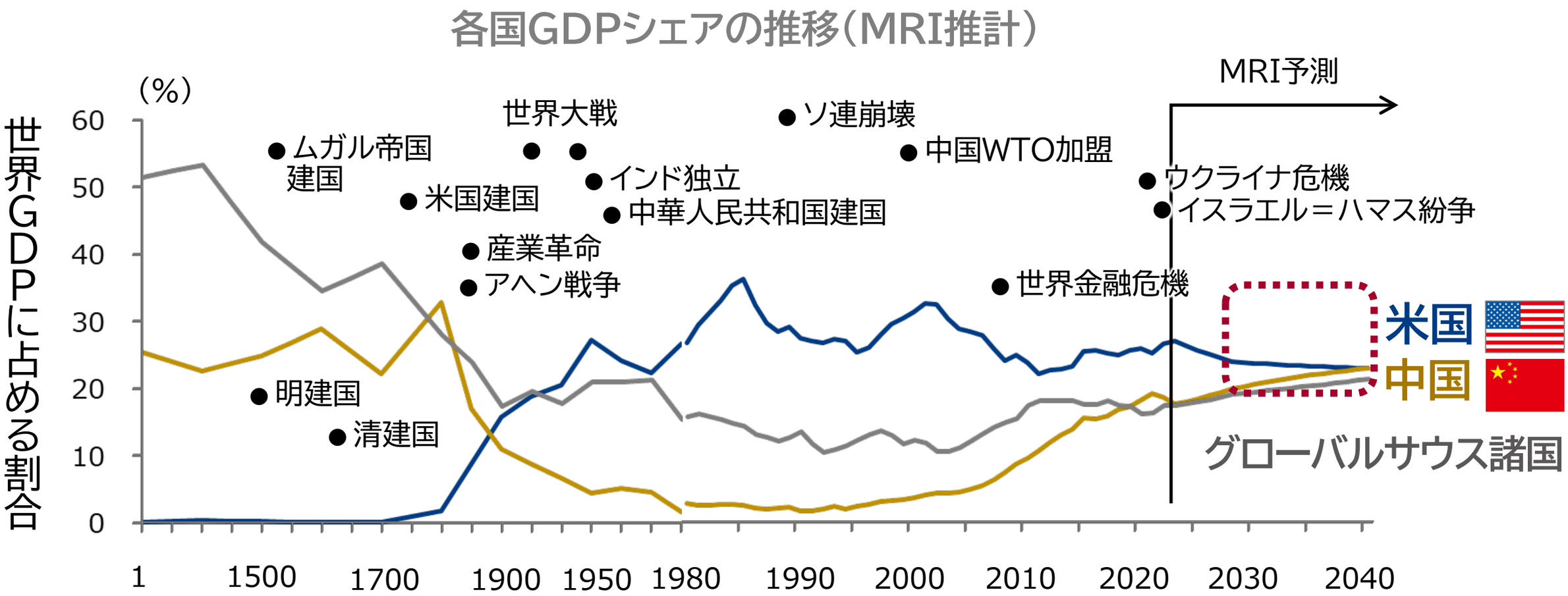


出所：実績はIMF、予測は三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

潮流1｜米中の経済力は拮抗、グローバルサウス諸国が台頭

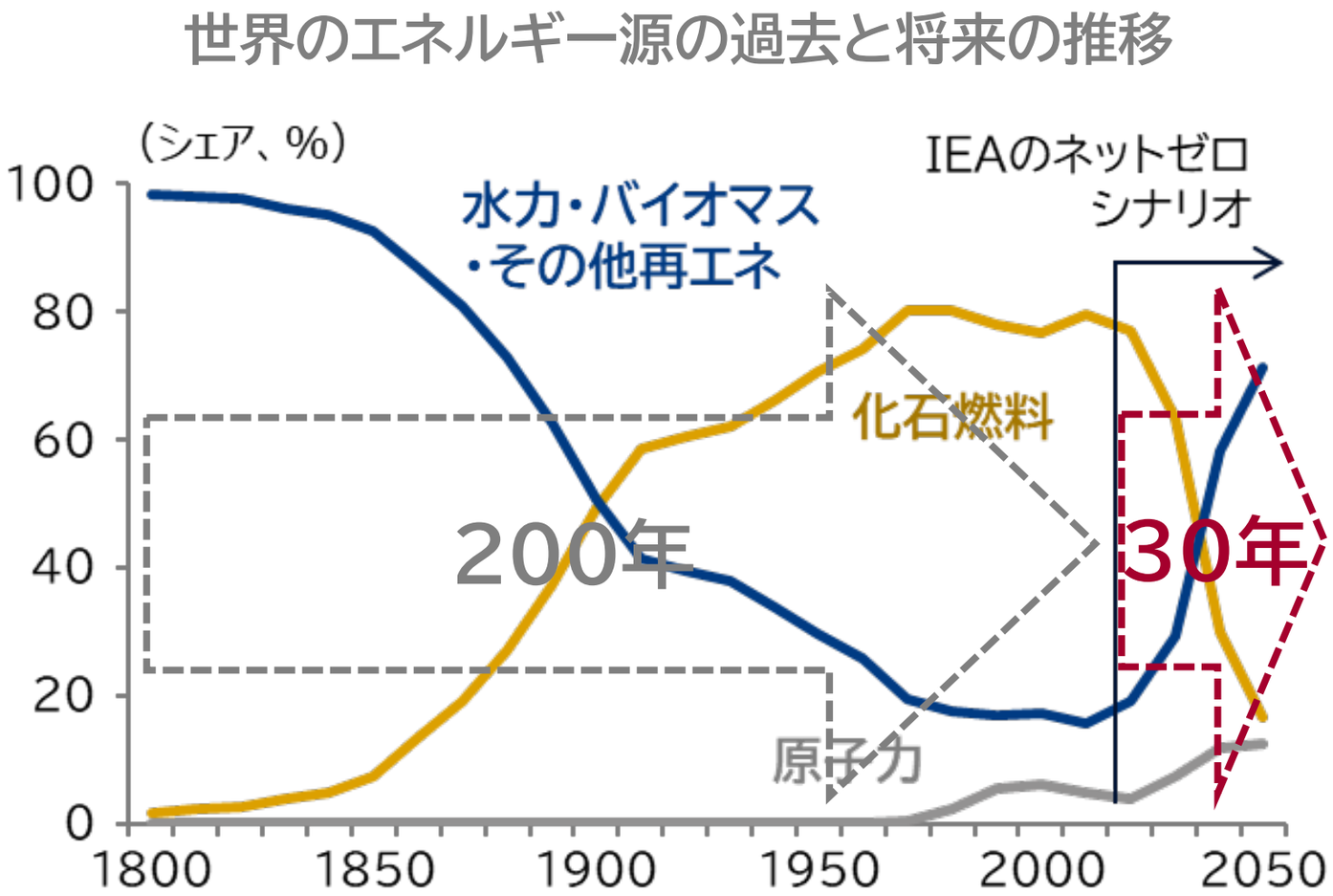
● 国際的なパワーバランスの転換点へ



出所：Maddison Historical Statistics、IMFを基に三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

潮流2｜脱炭素は過去200年の変化を30年で巻き戻す動き



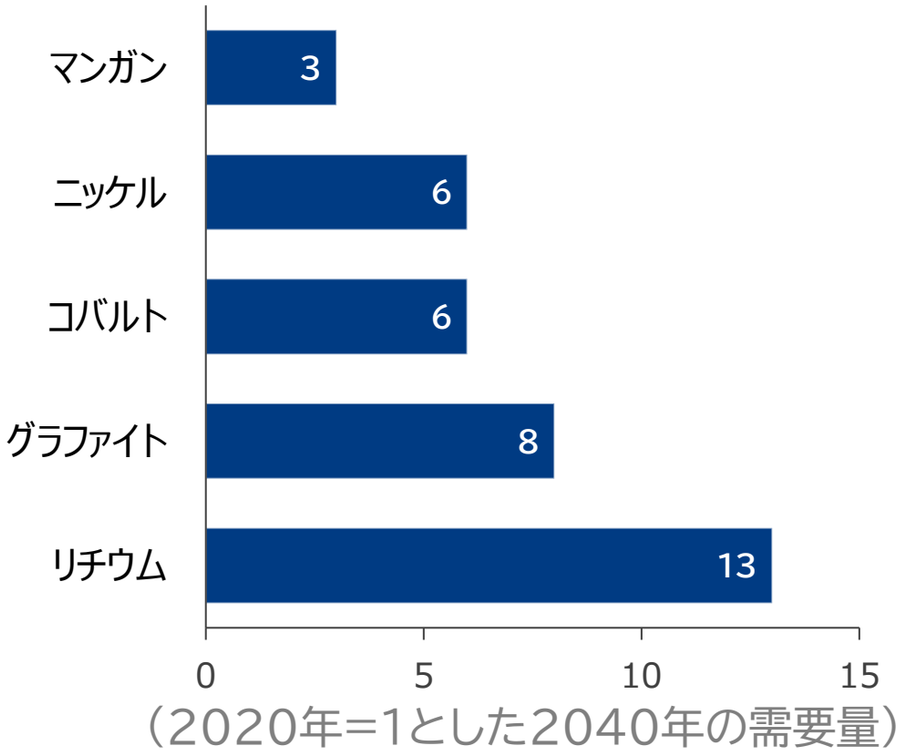
出所：Vaclav Smil「Energy Transitions」、IEA「World Energy Outlook 2024」より三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

潮流2｜資源獲得競争の更なる激化

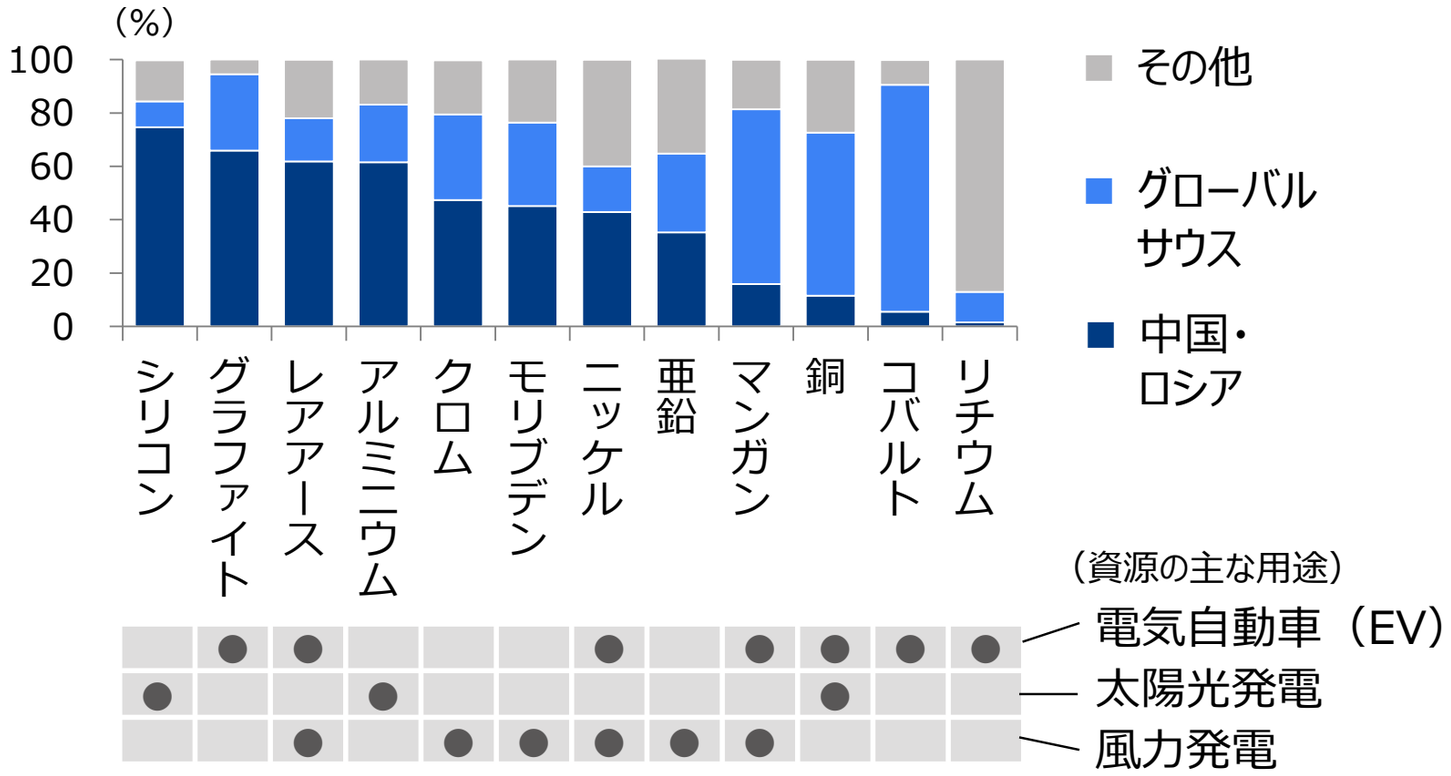
● 循環型経済の重要性が高まる

蓄電池関連レアメタルの需要量
（MRI推計）



出所：IEA「World Energy Outlook 2020」を基に三菱総合研究所作成

電化に必要な資源の輸出シェア



出所：米地質研究所「Mineral Commodity Summaries 2025」、IEA「The Role of Critical Minerals in Clean Energy Transitions 2021」などを基に三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

潮流3｜デジタル社会の進展とAIの浸透

- AIとの共創で人間の活動が根本から変わる

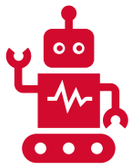
AIの進展

2025年～　　2030年～

生成AI
- 大量知識を事前学習
- 文書・画像を生成
- 言葉で対話・指示



AIエージェント
- 自ら考え戦略を練る
- 複雑な課題を解く



汎用AI（AGI）
- 人間レベルの知能
- 高度な汎用性×自律性
- 未知の問題に対応



超知能（ASI）
- 継続的に自己改良
- シンギュラリティ到来
- 人と敵対する懸念



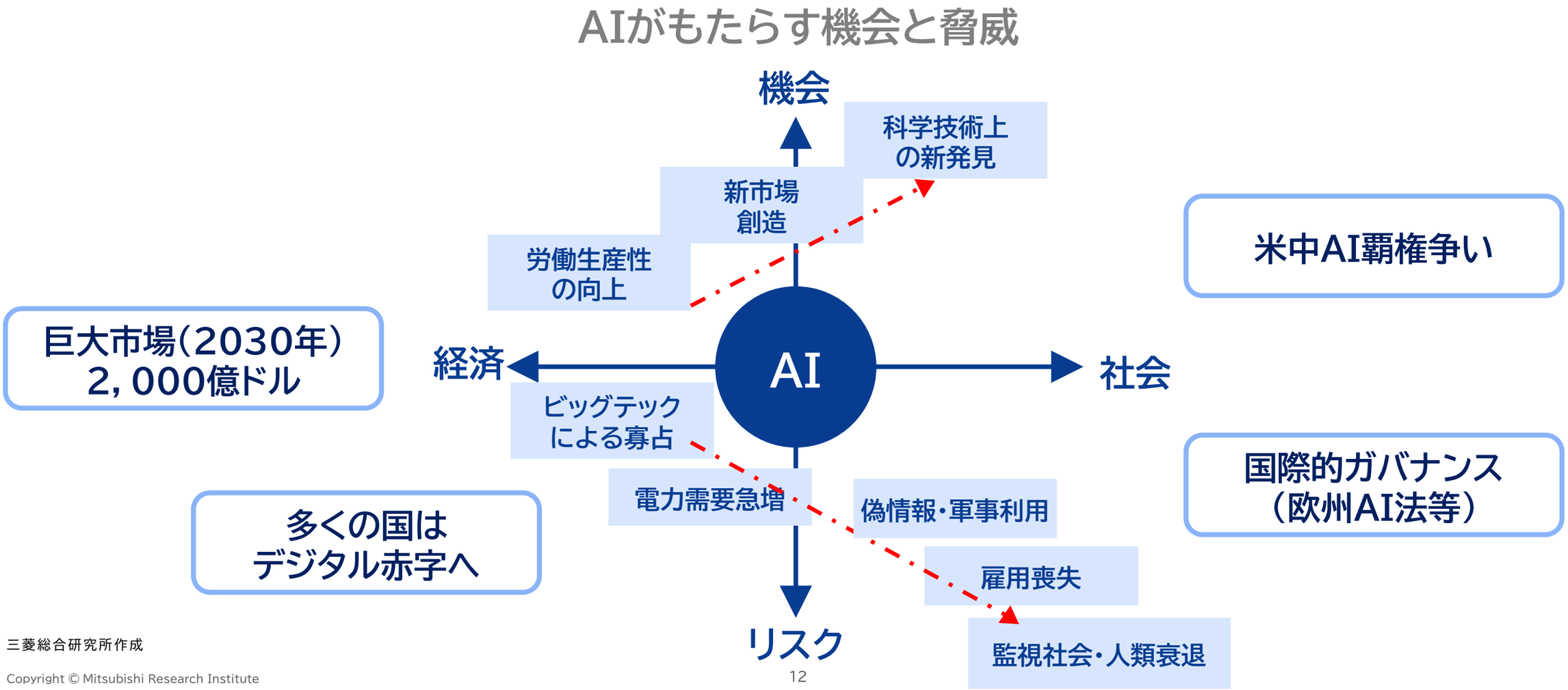
ハードウェア技術（センシング・ロボティクス等）
- 超小型化・軽量化
- 省電力化　　等

三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

潮流3｜デジタル社会の進展とAIの浸透

- AIの浸透による「光」と「影」が顕在化



三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

2. 日本の現状と課題

課題1｜人口減少と高齢化

課題2｜労働力不足

課題3｜国際競争力低下

課題4｜相対的貧困率の上昇

課題5｜財政の持続可能性低下

機会1｜投資先としての日本の再評価

機会2｜日本の強みを生かしアジア諸国へ貢献

機会3｜デジタル活用し、労働力不足を解消

Copyright © Mitsubishi Research Institute

課題1｜人口減少

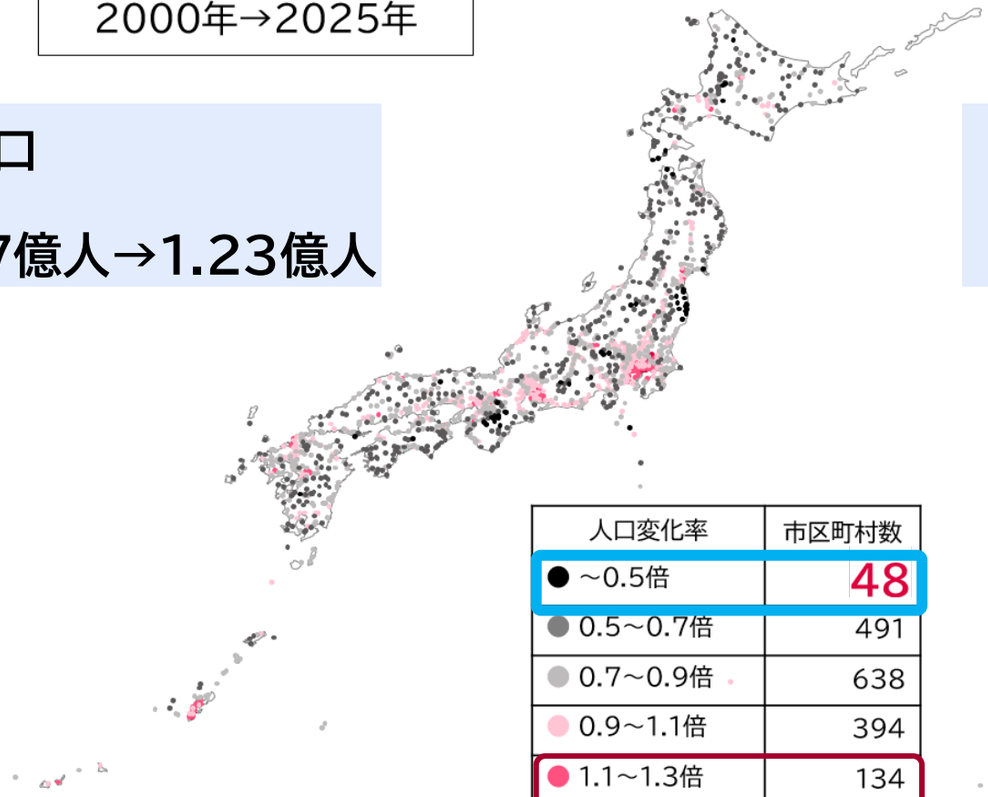
- 今後25年で人口が増えるのはたった6自治体

地域別人口の増減率

2000年→2025年

総人口

1.27億人→1.23億人

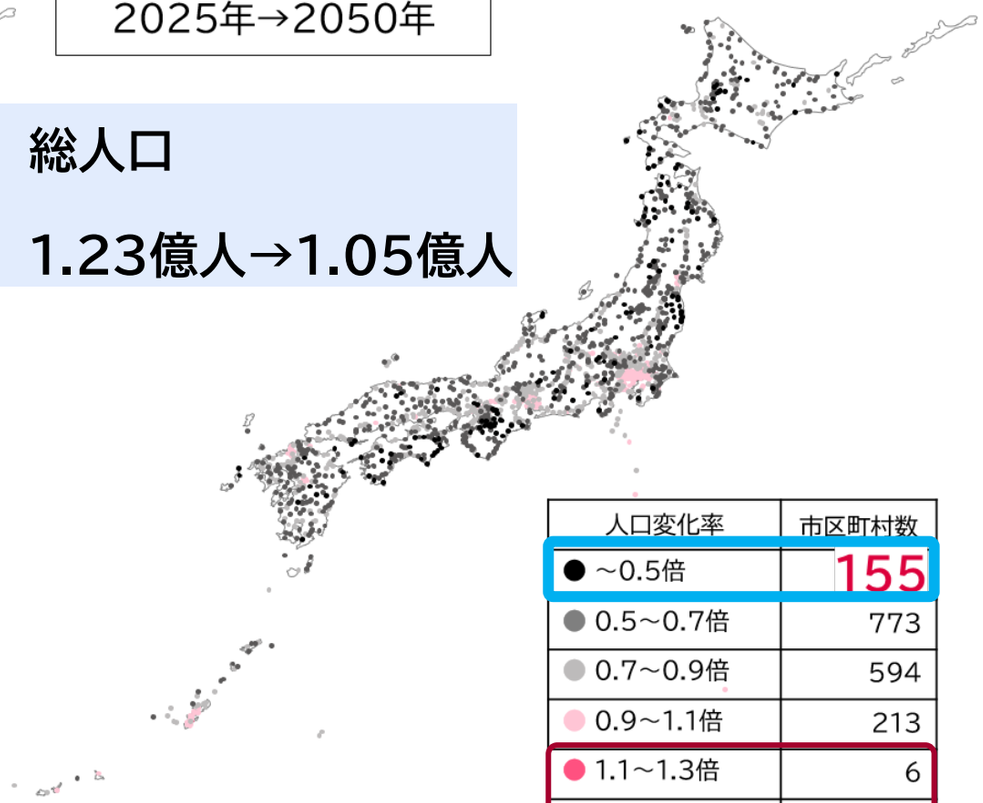


人口変化率	市区町村数
～0.5倍	48
0.5～0.7倍	491
0.7～0.9倍	638
0.9～1.1倍	394
1.1～1.3倍	134
1.3倍～	36

2025年→2050年

総人口

1.23億人→1.05億人



人口変化率	市区町村数
～0.5倍	155
0.5～0.7倍	773
0.7～0.9倍	594
0.9～1.1倍	213
1.1～1.3倍	6
1.3倍～	0

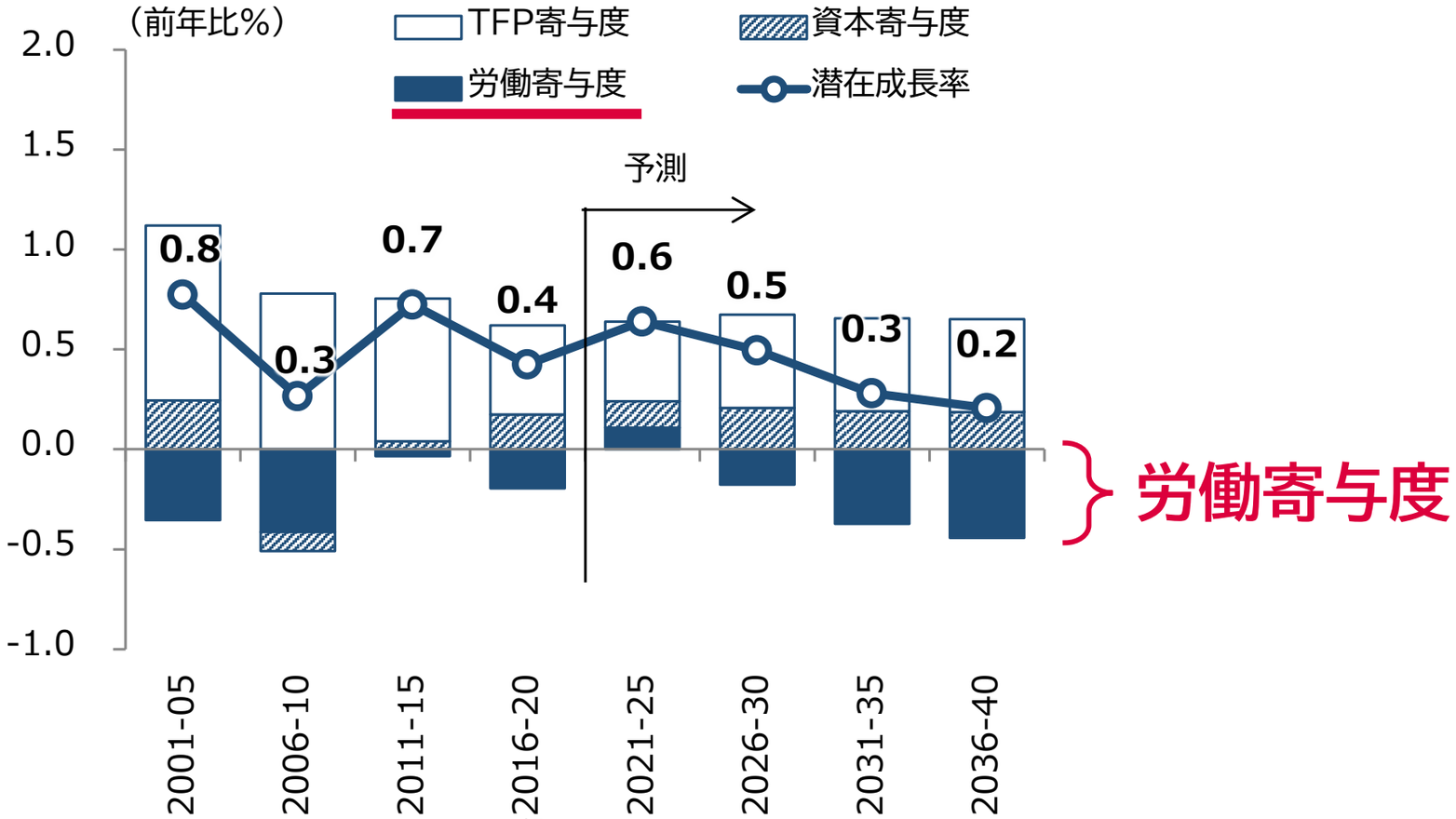
出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（令和5年（2023年）推計）」を基に三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

課題2｜労働力不足の深刻化

- 成り行きで生産性が向上したとしても、労働力減少のマイナス影響が大

日本の潜在成長率の推移（MRI推計・成り行きシナリオ）

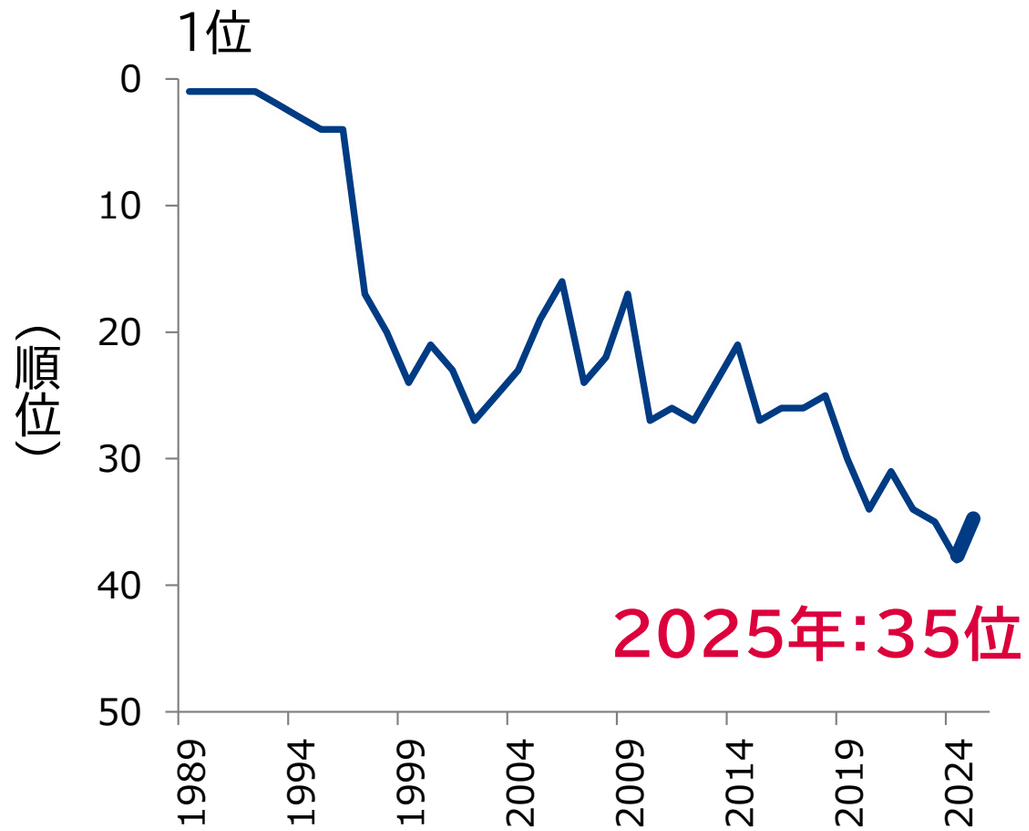


出所：実績は内閣府、予測は三菱総合研究所

Copyright © Mitsubishi Research Institute

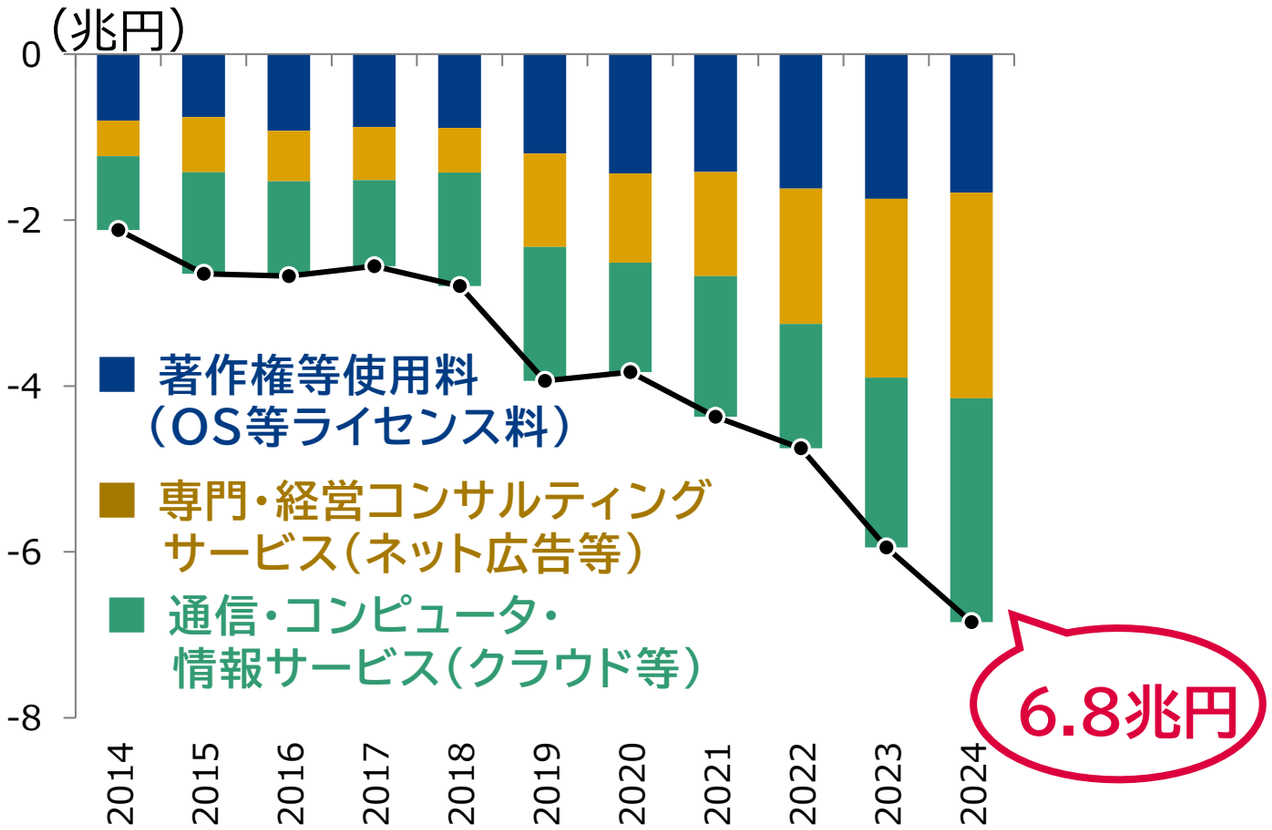
課題3｜国際競争力低下による日本のプレゼンス後退

IMD国際競争力ランキング（日本の順位）



出所：IMD「世界競争力年鑑」を基に三菱総合研究所作成

日本のデジタル関連収支の推移

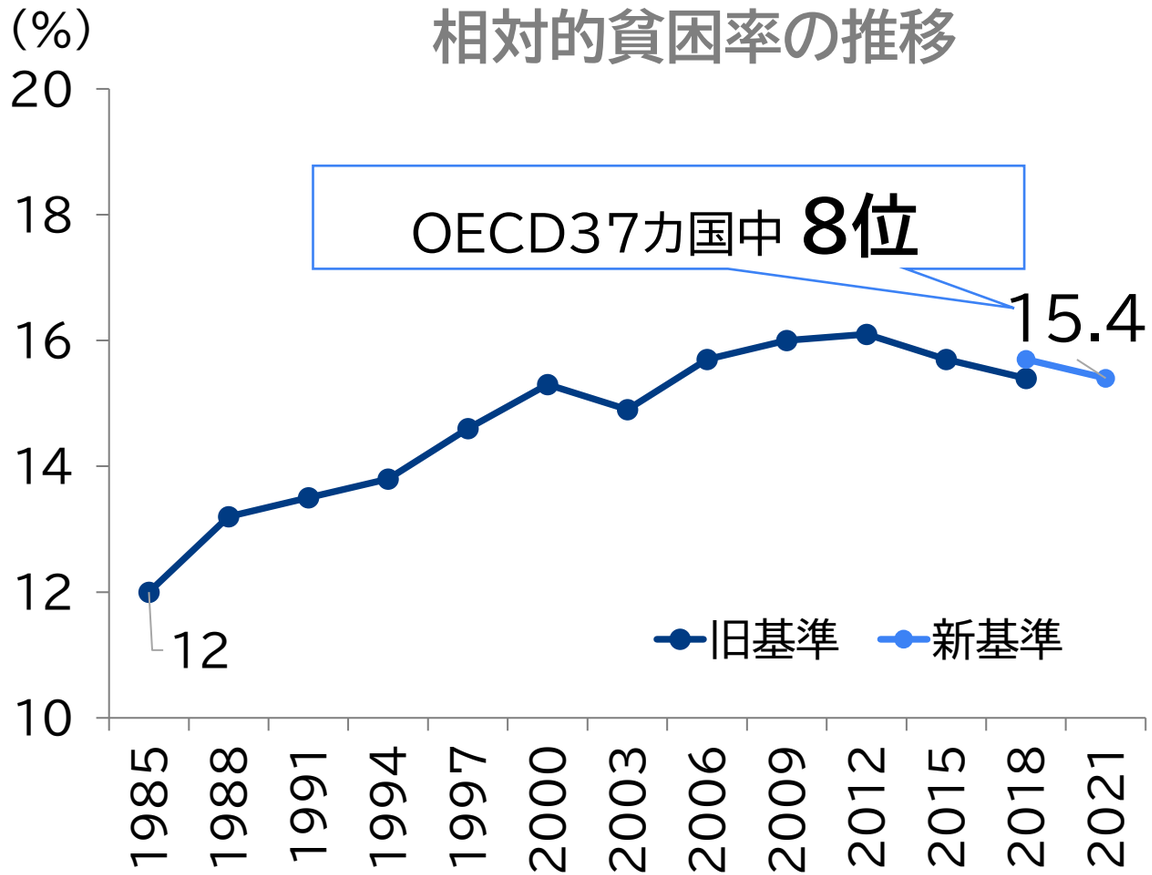


出所：財務省・日本銀行「国際収支統計」を基に三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

課題4｜相対的貧困率の上昇

● 相対的貧困率の上昇による社会の分断進展



ひとり親世帯
130万世帯、9割が母子家庭
相対的貧困率44.5%※

子どもの貧困
成長の機会を奪う・貧困の悪循環
日本の未来社会にとっても打撃

※：こども家庭庁「こどもの貧困対策・ひとり親家庭支援の現状について」（2023/7）

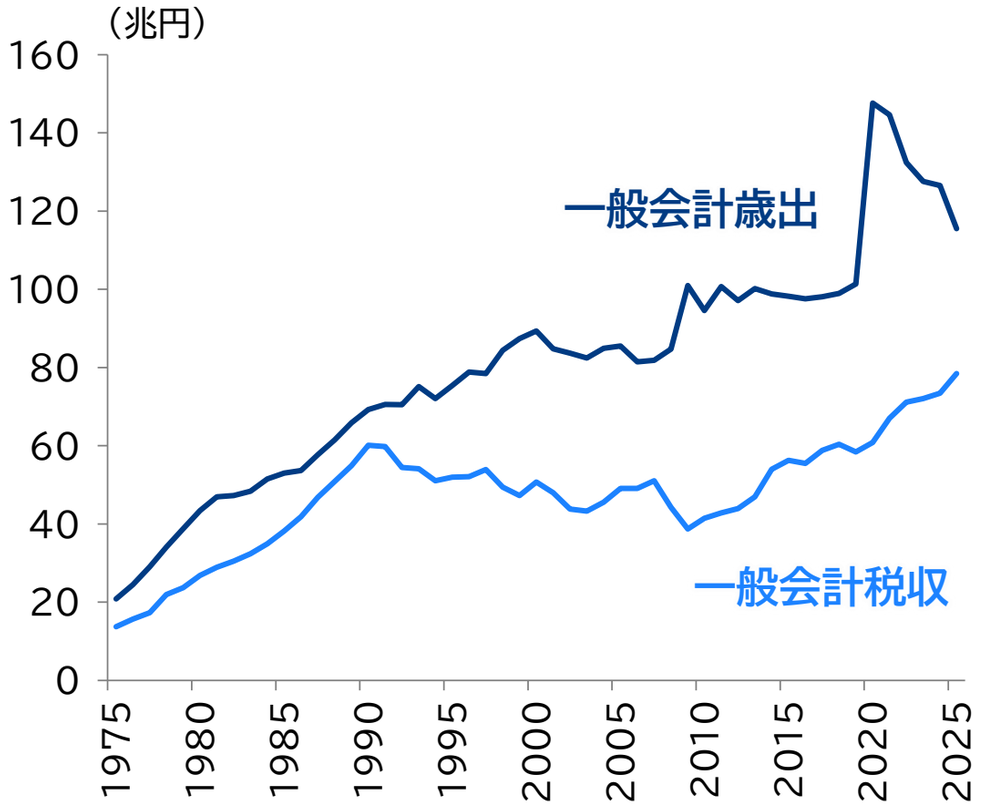
出所：国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（全国推計）』（令和6（2024）年推計）」を基に三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

課題5｜財政の持続可能性低下

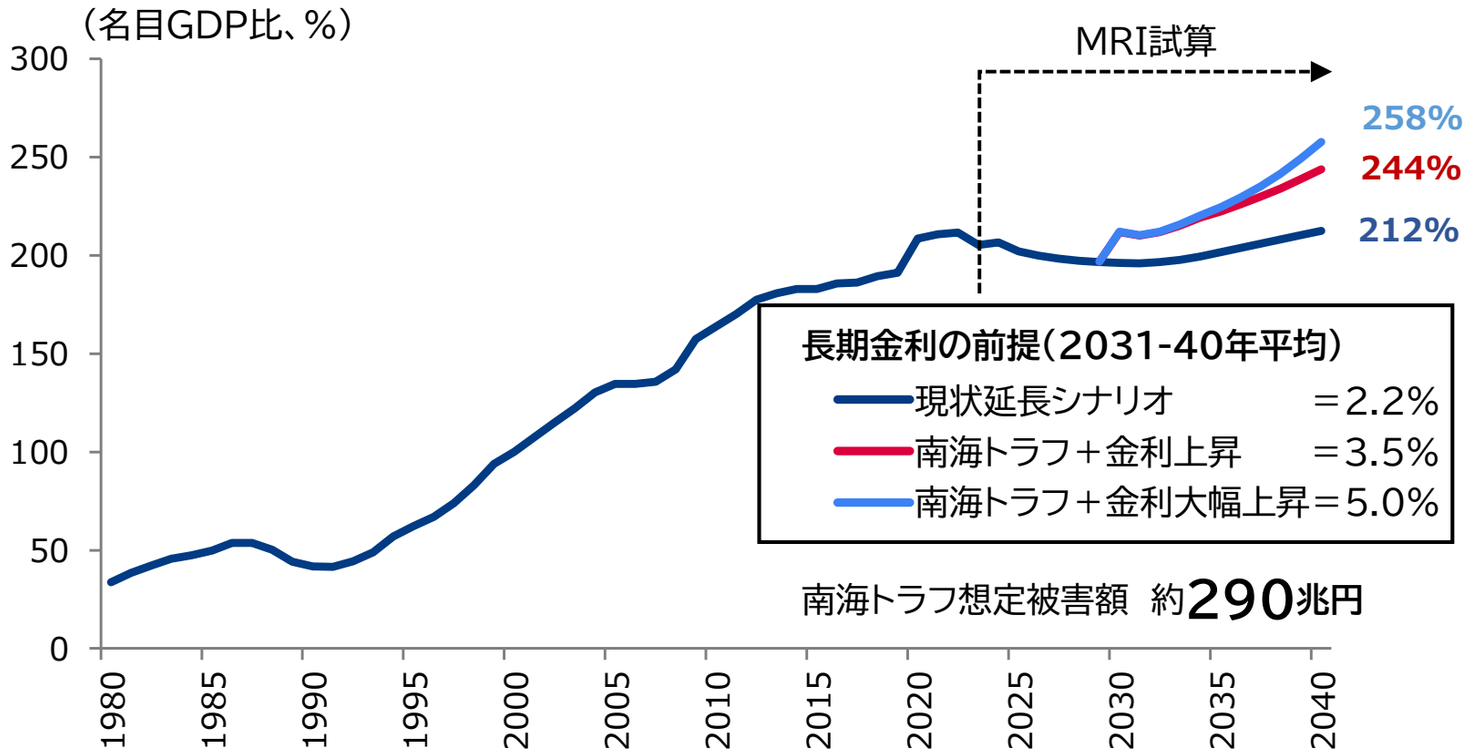
- 財政の持続可能性低下→将来不安の増大、将来への投資減少

歳出と歳入の差



出所：財務省「予算・決算」を基に三菱総合研究所作成

債務残高のGDP比の推移見通し（金利シナリオ別）



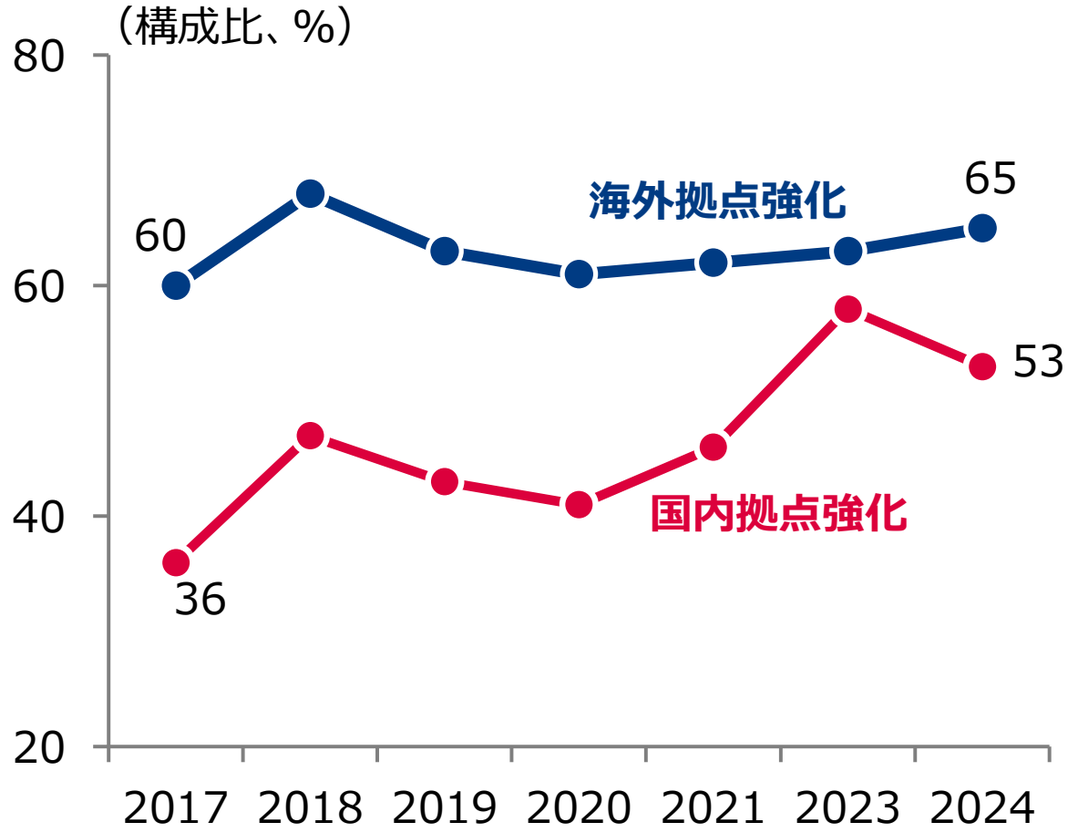
出所：内閣府「中長期の経済財政に関する試算（2024年7月）」を基に三菱総合研究所試算

Copyright © Mitsubishi Research Institute

機会1｜投資先としての日本の再評価

- **比較的安定している日本への投資が拡大→「挑戦」に向けた余力創出**

日本企業の今後の意向



出所：日本政策投資銀行「全国設備投資計画調査」を基に三菱総合研究所作成

海外からの投資動向

- **対日直投残高：50.5兆円** ※前年比9.3%増

（出所：「JETRO対日投資報告2024」）

- **R&D拠点としての日本拠点の強化**

（地政学リスク回避、信頼性の高い技術 等）

三菱総合研究所作成

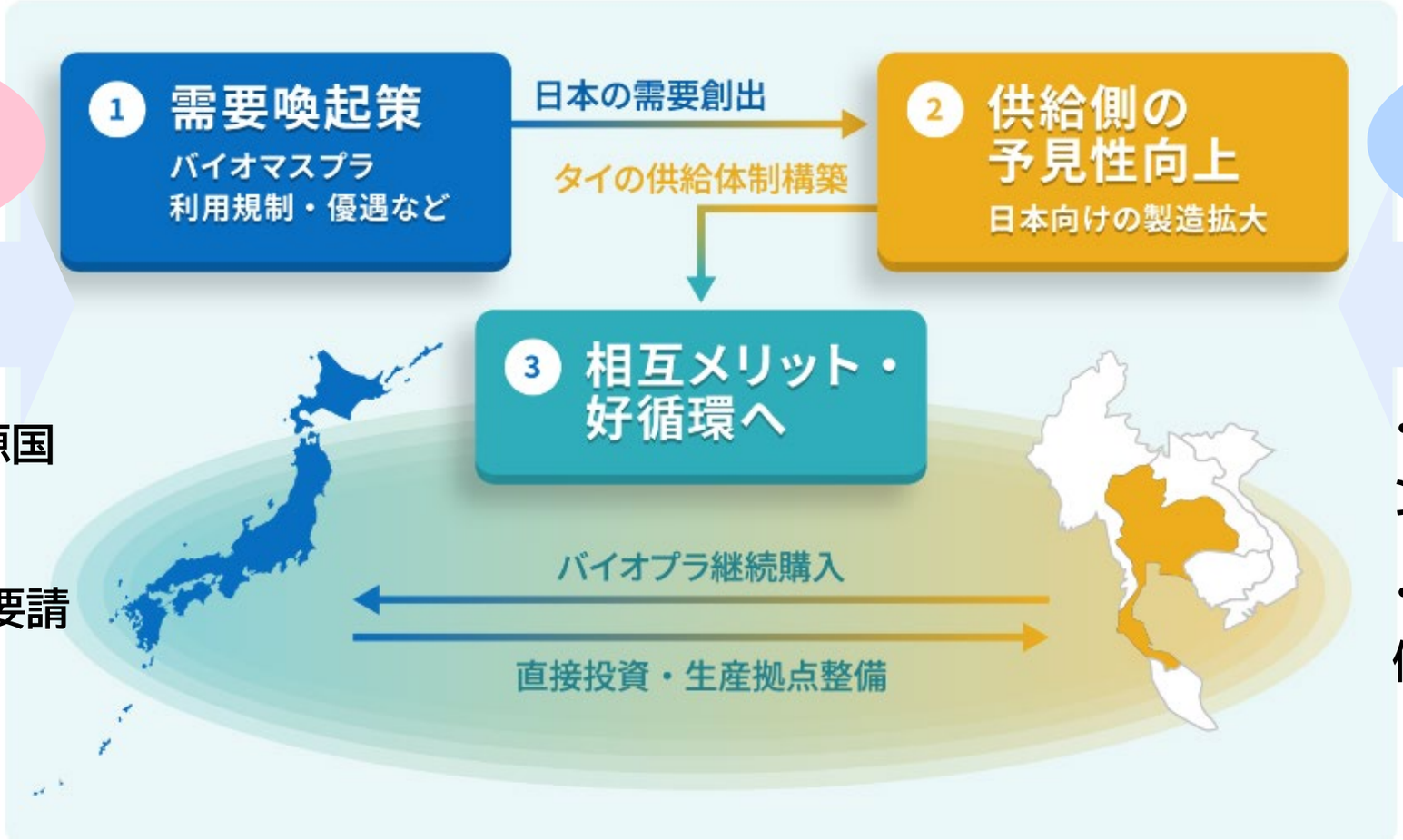
Copyright © Mitsubishi Research Institute

機会2｜日本の強み（技術と信頼）を生かしアジア諸国へ貢献

資源自律性を高めるための国際連携の例：バイオマスプラスチックにおける日・タイ連携（イメージ）

技術を有する日本

資源を有するタイ



外部環境

・資源の偏在、資源国の保護主義化

・脱炭素に対する要請

現地ニーズ

・「バイオ循環型グリーン経済」の国家戦略化

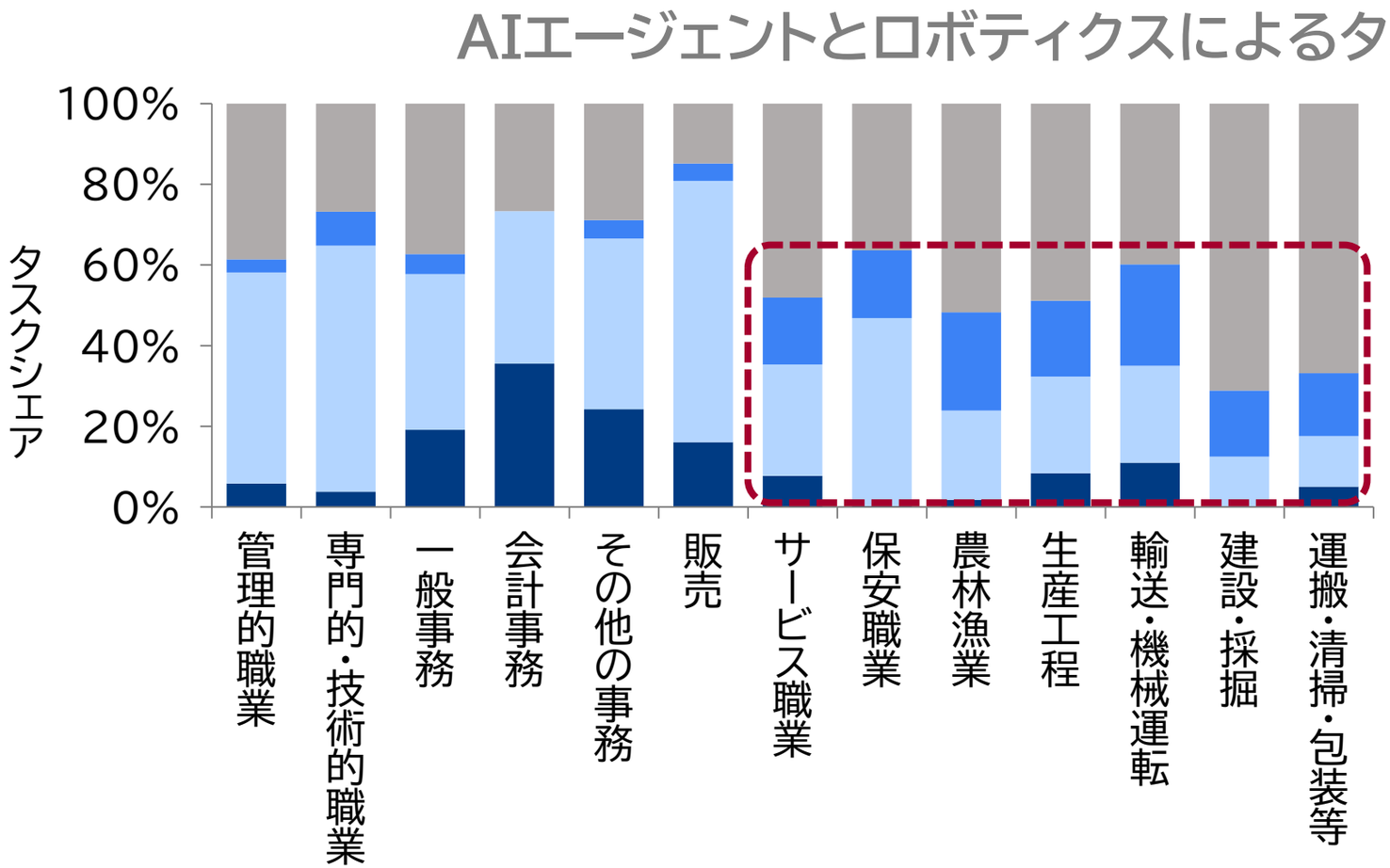
・主要農産物の付加価値を向上

三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

機会3｜デジタルを活用して労働力不足を解消

- AIとロボティクスをフル活用して労働力不足を解消するチャンス



タスクへの影響として・・・

労働代替効果のみ

両方の効果

労働補完効果のみ

何れの効果もなし

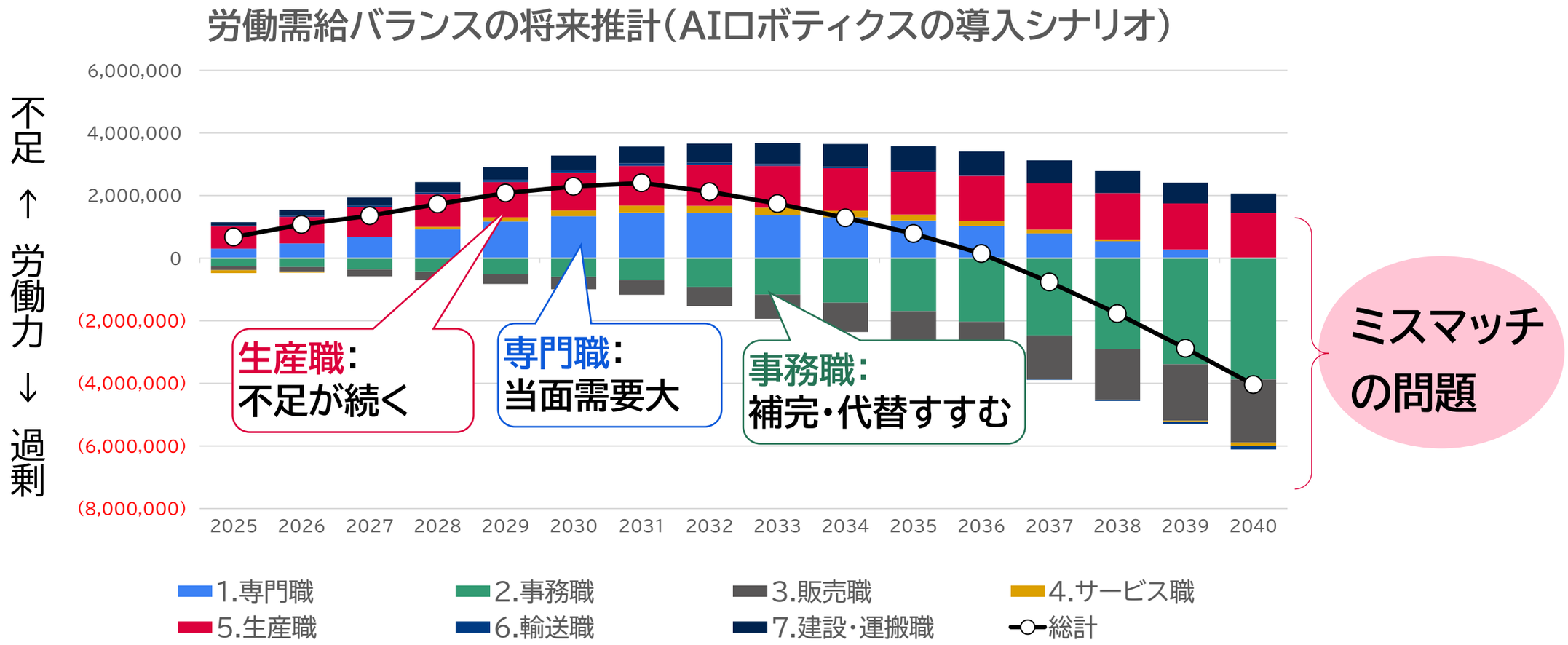
※OpenAIのGPT-4oを用いて判定

出所：米国O*NET、労働力調査、国勢調査等を基に三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

機会3｜AIとロボティクスの進展が労働力不足を一部解消

- 「需給ミスマッチ」の解消がカギ



出所：米国O*NET、労働力調査、国勢調査等を基に三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

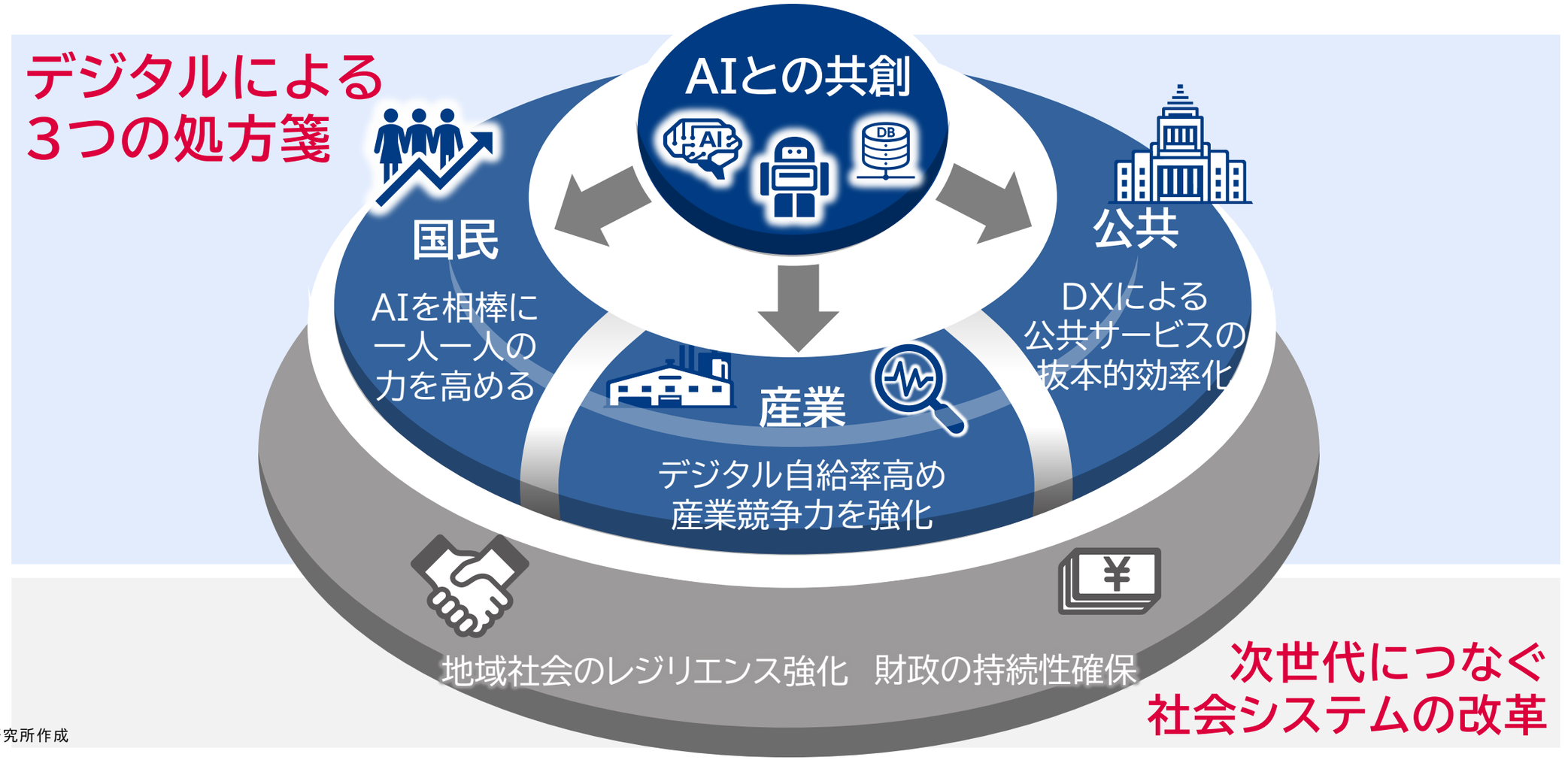
3.　豊かで持続可能な未来に向けて

未来社会構想2025（2019年）
＆　新・未来社会構想（2025年）

Copyright © Mitsubishi Research Institute

豊かで持続可能な未来に向けて

- **世界潮流を機会に変え、同時に国内課題を解決**



三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

処方箋　①AIを相棒に一人一人の力を高める

● デジタルで人的資本投資を加速

専門人材・中間層・シニア層、それぞれがAIを相棒に

超人的スキル
（イノベーション創出）
生産性を飛躍的に高める人間拡張技術を通じた「超人的スキル」の獲得

専門人材の「超人化」
専門職（非定型）：1400万人

誰にでも活躍機会
シニア層：4000万人
（現状の就労率30%）

能力を補完する
（労働参加率アップ）
ロボット技術の活用を通じた就労参加、メタバース/VRでの就労によるシニア活用

豊かな「デジタル中間層」
4700万人

気軽にスキルアップ
（業種転換・生産性）
生成AIを用いた低スキル層のスキルアップ、業務アシストによる異業種からの転職促進

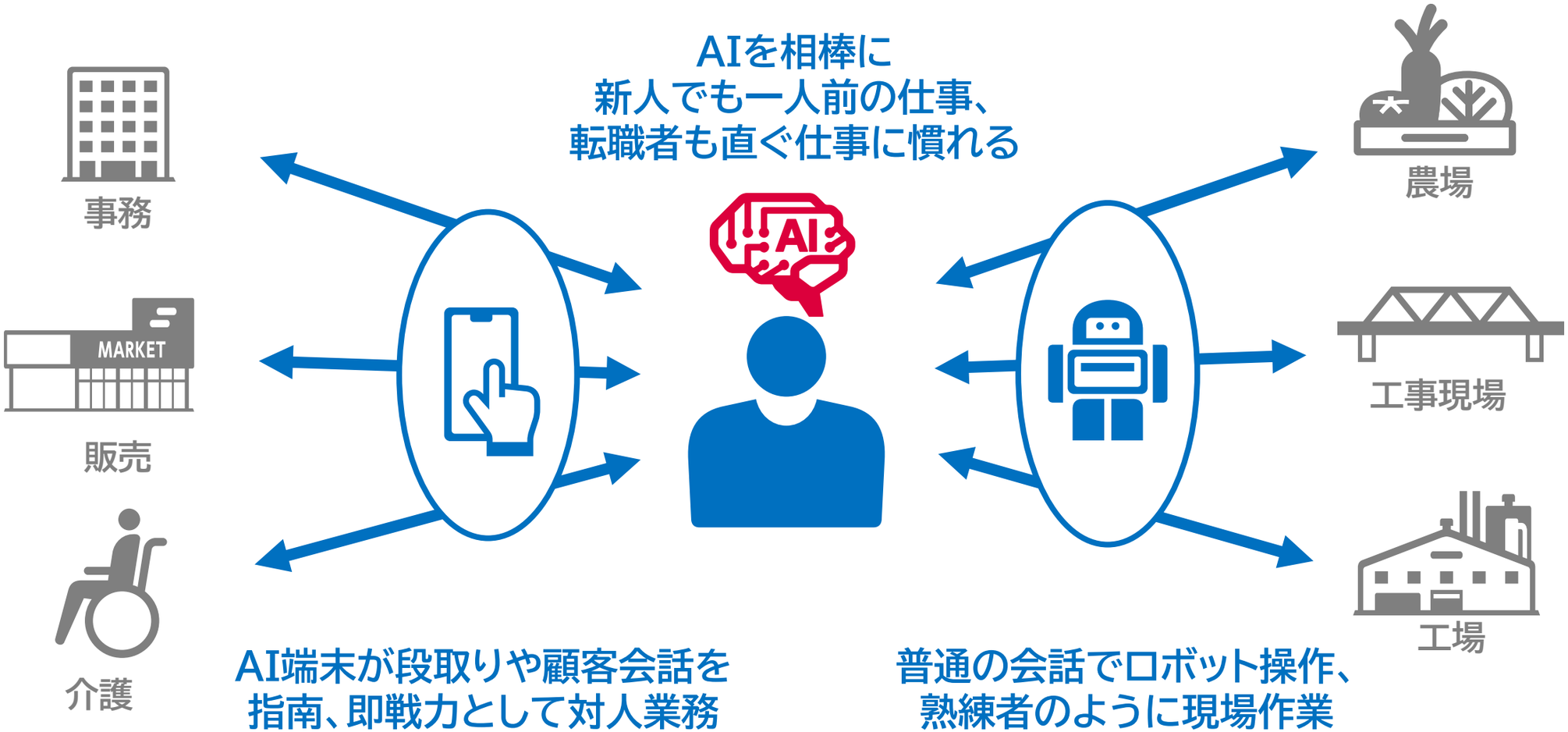
労働人口減少下での生産性向上

三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

処方箋　①AIを相棒に一人一人の力を高める

- AIを相棒に**中間層が気軽に**スキルアップ、生産性を向上させる

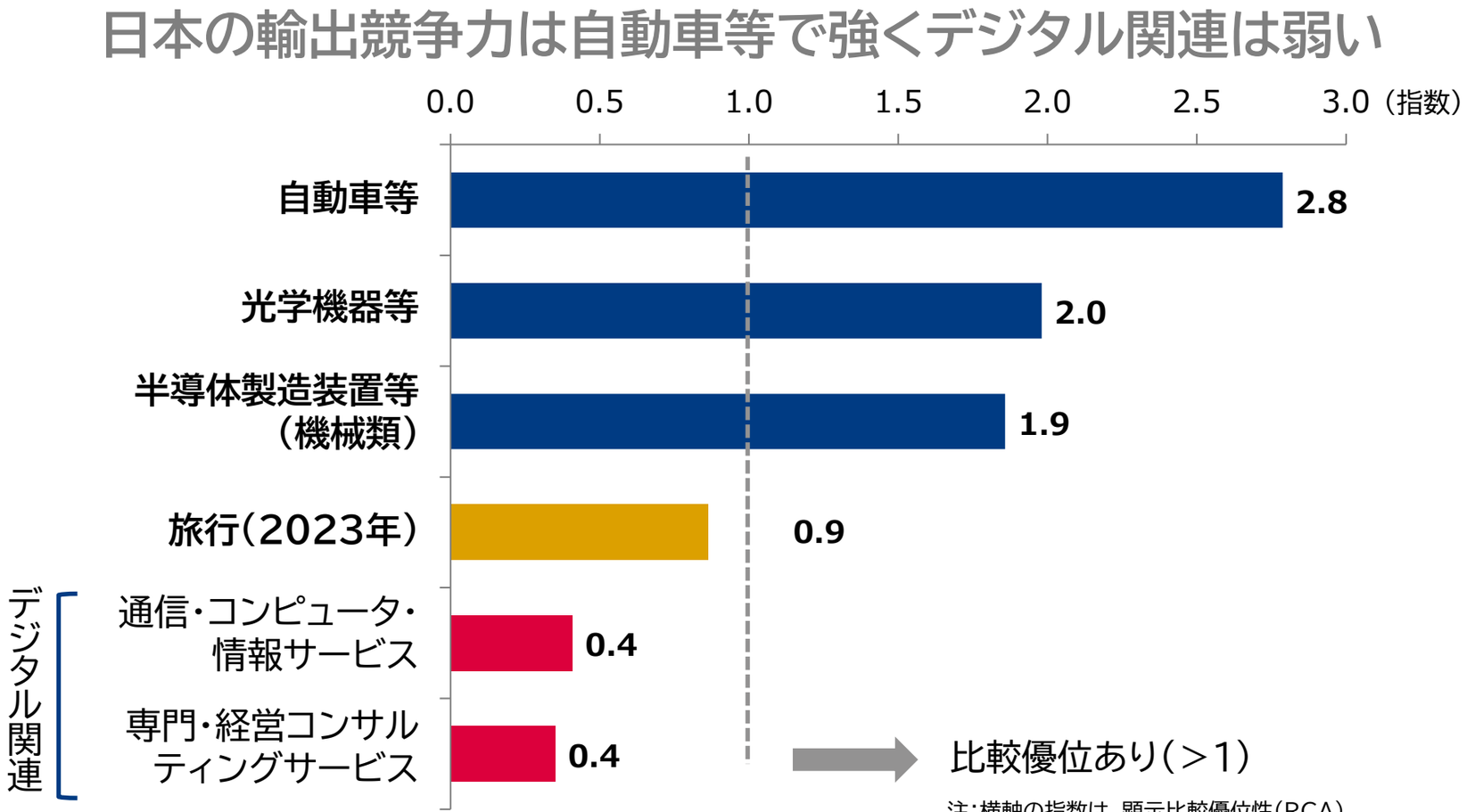


三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

処方箋　②デジタル自給率を高めて産業競争力を強化

- 日本の**強みがある産業**での積極的なデジタル技術活用



出所：UN Comtrade、UNCTADデータベースを基に三菱総合研究所作成

注：横軸の指数は、顕示比較優位性（RCA）。
例えば、光学機械等の2は、世界平均に比べて2倍多くのシェアの工学機的を輸出していることを示す。

Copyright © Mitsubishi Research Institute

処方箋　②デジタル自給率を高めて産業競争力を強化

● 国産デジタル産業の育成

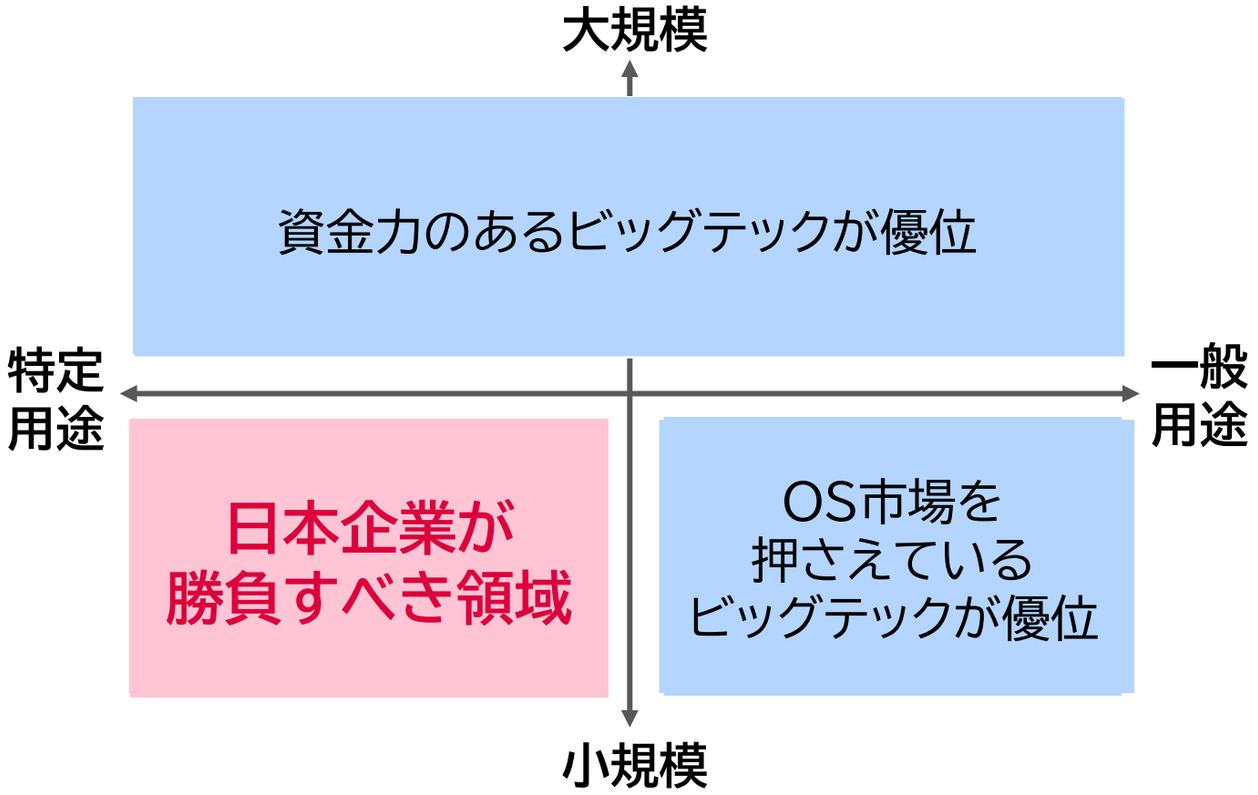
社会課題をデジタル技術で解決、
国産インフラ整備を進める

社会課題		デジタル技術
人手不足		ロボティクス
経済安保対応		省エネ基盤モデル
社会保障費増	✖	特化型基盤モデル
CN×CE対応		光電融合・分散NW
AI等の電力需要増		

国産デジタルインフラ整備・自給率向上

三菱総合研究所作成

日本企業が勝負すべき生成AIは
特定用途の**小規模**基盤モデル



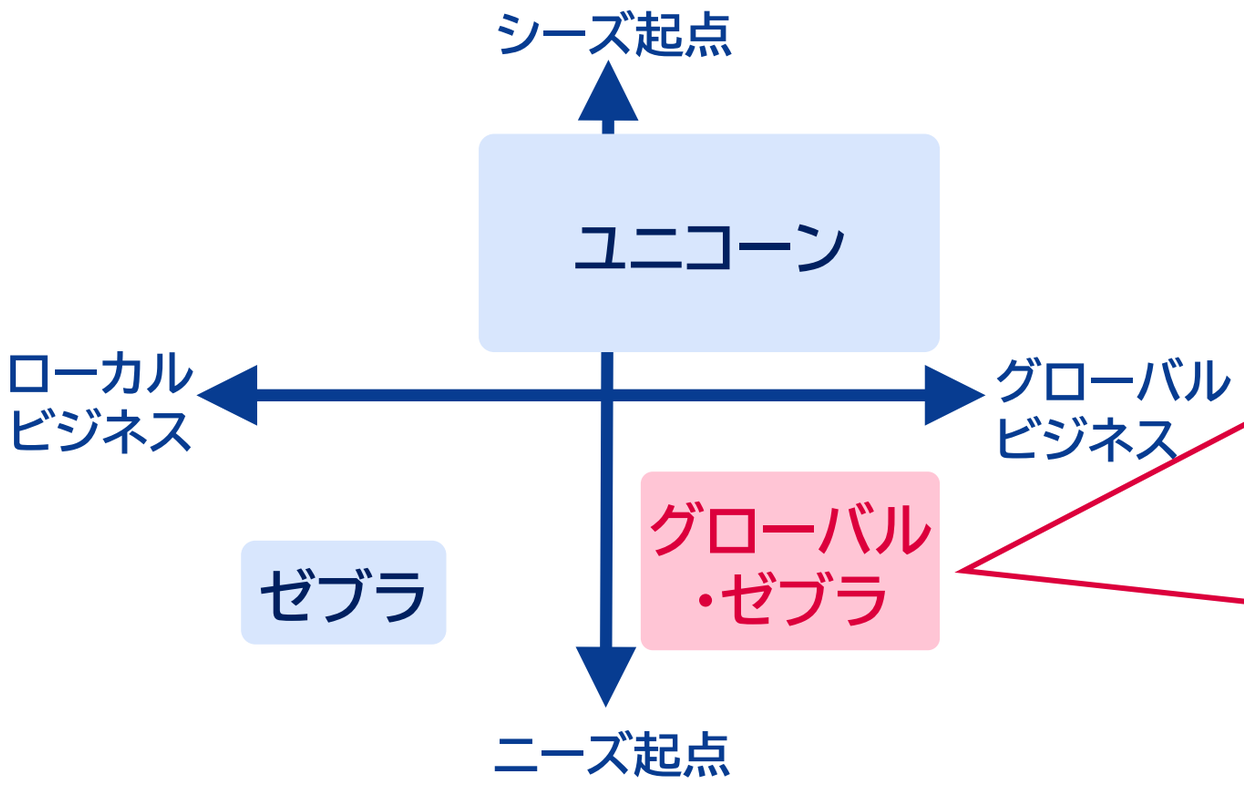
三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

処方箋　②デジタル自給率を高めて産業競争力を強化

- 日本発グローバル・ゼブラ※に期待

※：課題起点でイノベーションを起こし長期成長を目指すスタートアップである「ゼブラ」企業のうち、グローバルにビジネス展開を目指すものを「グローバル・ゼブラ」と名付けた（三菱総合研究所による造語）



分野	日本の強み	想定国・地域〔共通課題〕	事例
医療	生活習慣病診療の実績	長寿命化（マレーシア、ベトナム）	アルム（医療ICT）
介護	公的介護制度の実績	高齢化（中国、タイ、インドネシア）	
農業	稲作で機械化等の実績	都市化（ベトナム、フィリピン）	SECAI MARCHE（産直EC）、サグリ（衛星AI）
インフラ	災害対応の経験	災害多発（トルコ、フィリピン）	WOTA（簡易水道）

現地国と共創

三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

処方箋　③DXによる公共サービスの抜本的な効率化

● デジタルを活用したライフライン維持管理の効率化

自治体起点の
DXで課題解決

豊田市「人工衛星とAIによる水道管の健康診断」

深刻な課題

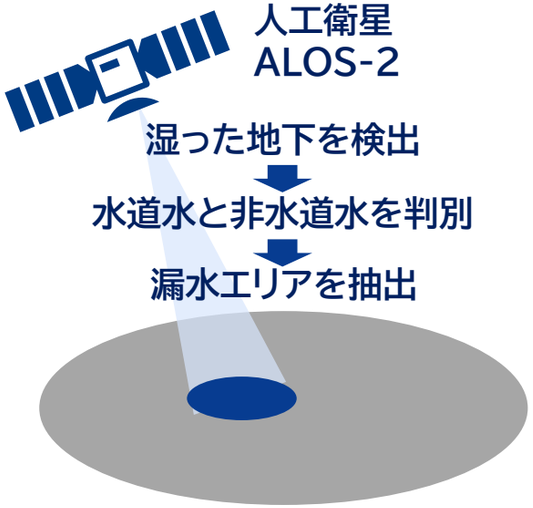
市町村合併
人口減少

↓

維持管理の
優先順位付け

音聴職員
の高齢化

漏水エリア特定診断



調査期間短縮
5年→7か月

調査費用削減
大幅削減

発見箇所増加
69件→259件

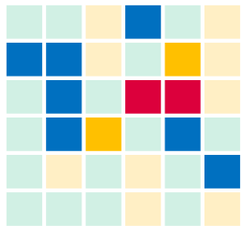
漏水リスク評価

衛星データ群
（温度・画像・植生等）

水道管路データ
（材質・年数・履歴等）

AI解析

漏水リスク
を5段階評価



全国へ波及

【豊田市】
日本初の導入

↓

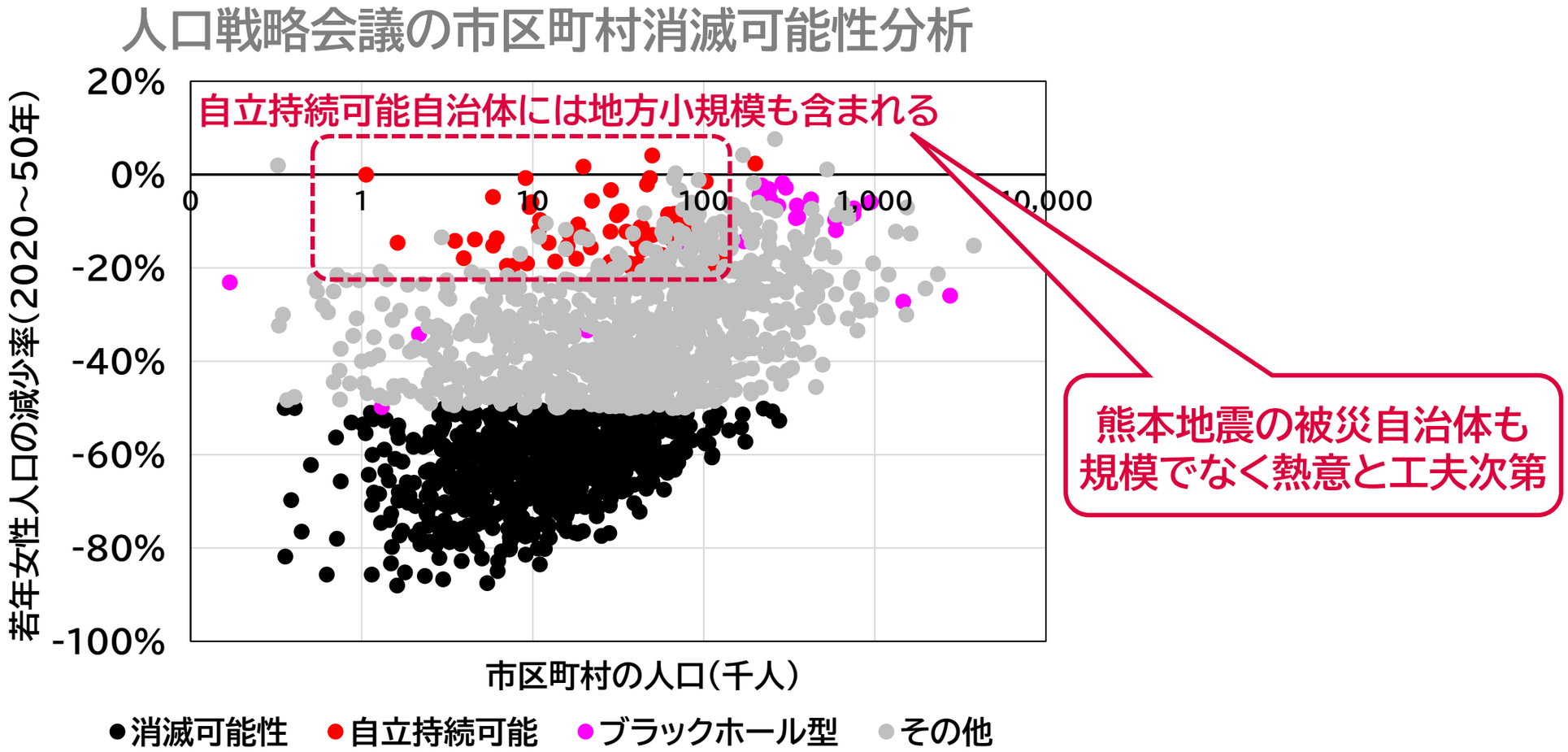
【政府】
類似技術を3年
めどに全国導入

出所：豊田市ホームページ「水道DX　人工衛星とAIによる水道管の健康診断」（https://www.city.toyota.aichi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/059/610/1.pdf）を基に三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

社会システム改革　①地域社会のレジリエンス強化

- 自治体約4割が「消滅可能性」、65自治体は「自立持続可能性が高い」



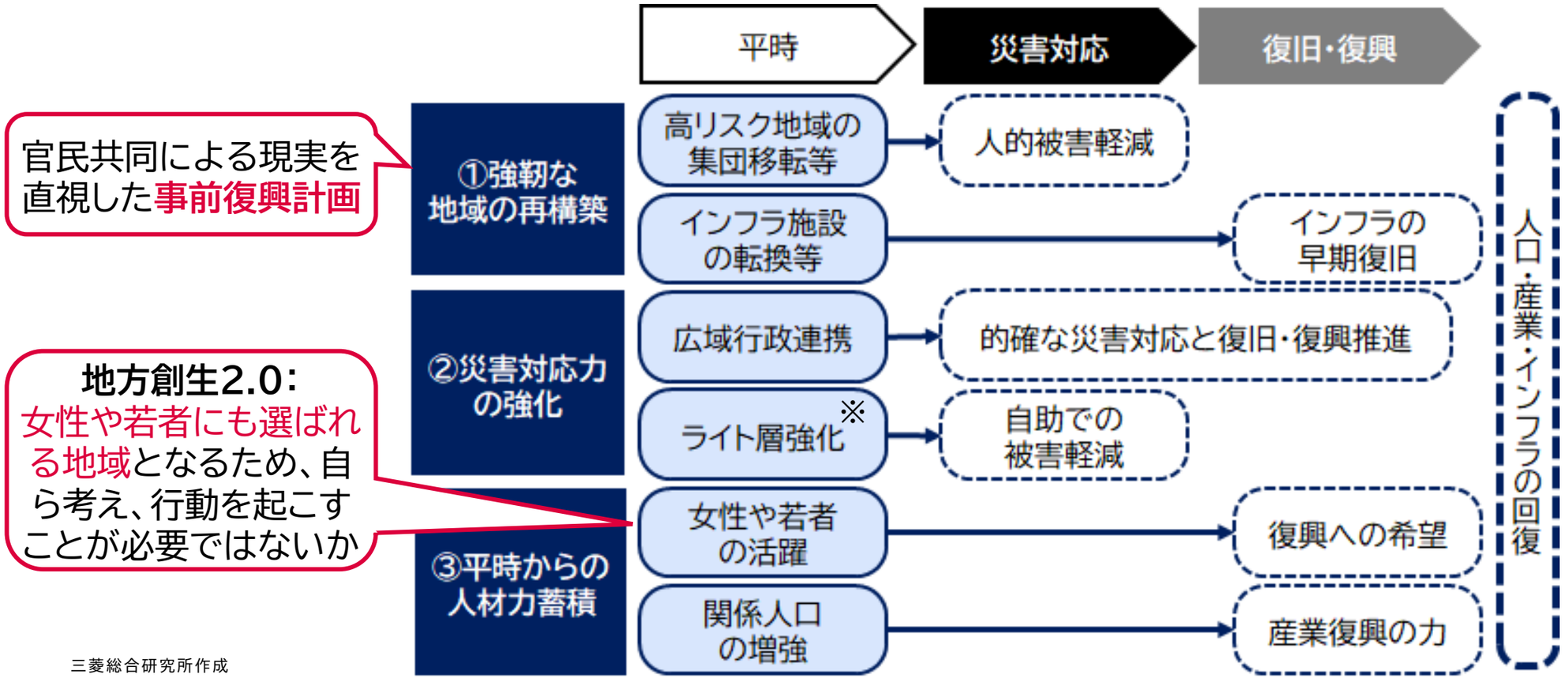
出所：人口戦略会議「令和6年地方自治体「持続可能性」分析レポート」を基に三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

社会システム改革　①地域社会のレジリエンス強化

- 地域社会の「**平時からの強さ/弱さ**」が、災害からの回復力に直結

レジリエンス強化に向けた平時からの取り組み



※：ライト層とは、事前の防災行動に関心をもちながらも行動に移せていない人々（三菱総合研究所による用語）

三菱総合研究所作成

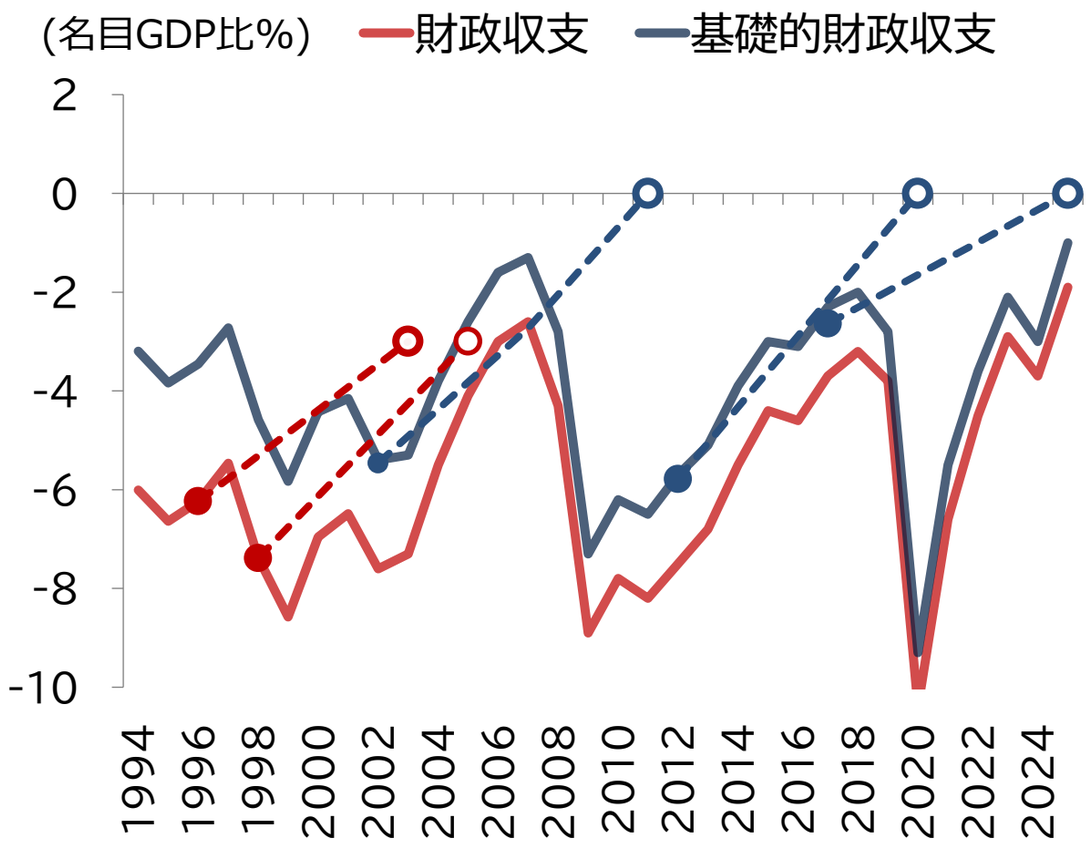
Copyright © Mitsubishi Research Institute

社会システム改革　②財政の持続性確保

不確実な社会に備える
財政体力が不可欠

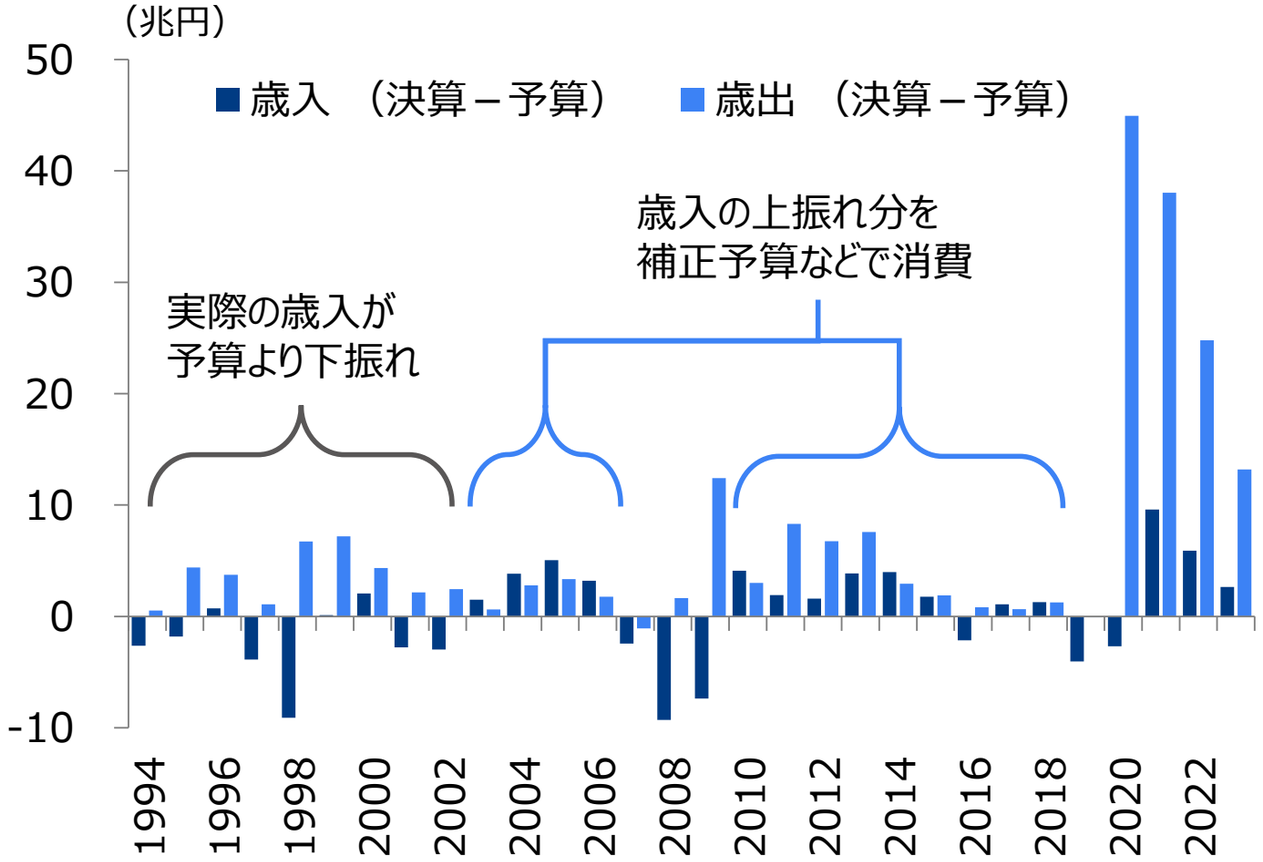
● 過去の財政再建はいずれも目標未達、歳出が歳入を上回る年が続く

過去の財政健全化計画と実績



出所：内閣府「中長期の経済財政に関する試算」を基に三菱総合研究所作成

歳出入の予算と決算の乖離



出所：財務省「予算・決算」を基に三菱総合研究所作成

Copyright © Mitsubishi Research Institute

社会システム改革　②財政の持続性確保

効果ある制度改革と
施策の中身は明らか

● 社会保障費を軽減する（持続的な医療・介護保険制度）

自律的な医療介護システムの構築に向けた制度改革

❶ 提供体制の効率化
- ポスト地域医療構想の推進
- 介護事業所の大規模化・協働化
- 外来医療の包括化
- リフィル処方箋義務化

❷ 給付の適正化
- OTC類似薬の自己負担引き上げ
- 手術等の外来化　等

❸ 自己負担の改革
- 自己負担の原則3割の導入
- 金融資産等を考慮した応能負担

制度改革の実効性を上げるための施策

❹ 都道府県の役割・権限強化を後押し

❺ DXの推進（公的データベース等の二次利用）

❻ 民間事業者の活用（成功報酬型委託方式等）

出所：三菱総合研究所「社会保障制度改革の中長期提言 『自律的な医療介護システム』への変革－来るべき『2040年問題』を乗り越えるために」

Copyright © Mitsubishi Research Institute

社会システム改革　②財政の持続性確保

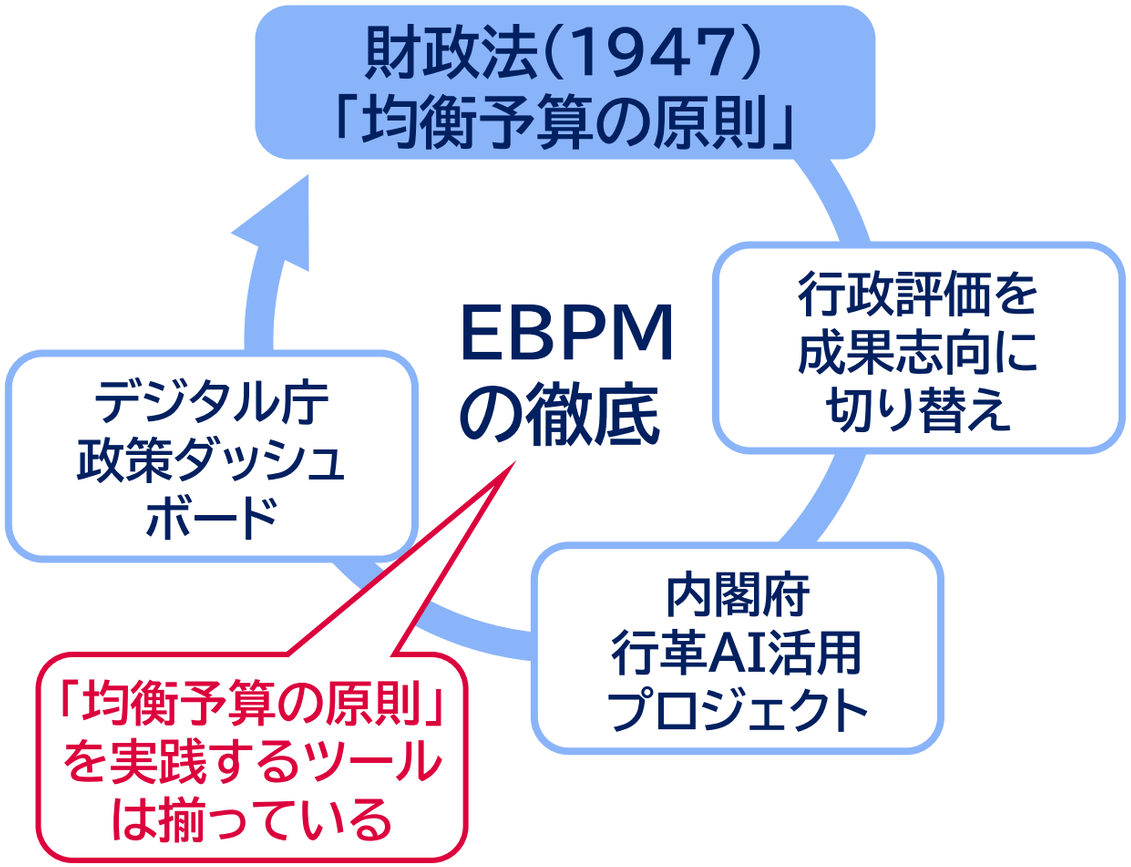
● 歳入と歳出のバランスを管理する

各国の仕組み例

国	内容
ドイツ 債務ブレーキ	基本法(憲法)第109条・第115条に規定。連邦政府の構造赤字をGDP比0.35%以内に制限(2011年度から完全適用)
スウェーデン 政府歳出上限と黒字目標	政府の歳出上限(Expenditure Ceiling)と 景気循環調整後の黒字目標を法律で設定。独立機関(Swedish Fiscal Policy Council)が監視

三菱総合研究所作成

日本のあるべき姿



Copyright © Mitsubishi Research Institute

結語 「豊かで持続可能な社会の実現に向けて」

世界の潮流
国際情勢の不安定化
脱炭素・循環型社会への移行
デジタル社会の進展とAIの浸透

日本の課題
人口の減少
国際競争力の低下
地域社会の高齢化
貧困率の上昇
財政の持続性低下

日本の機会
投資先としての日本の再評価
日本の強みを生かしアジア諸国へ貢献
デジタルを活用して労働力不足を解消

デジタルによる3つの処方箋
①人材：豊かなデジタル中間層
②産業：現場志向DX、グローバルゼブラ
③公共：自治体起点のDX

次世代につなぐ社会システム改革
①地域：人材力蓄積でレジリエンス強化
②財政：社会保障改革、歳出入バランス

不確実性の高まり
国際協調体制の綻び
地球環境の限界
AI・新たなリスクへの対処
日本社会も調和破綻のおそれ
（次世代、中間層、地域、財政）

日本の信頼が保たれている
今こそ、
不都合な**現実を直視**し、
デジタルを梃子に
改革実現する**最後のチャンス**

Copyright © Mitsubishi Research Institute

その知と歩もう。

MRI 三菱総合研究所